

TALON Tips  
＜明細にある数量項目の合計額を表示する＞

株式会社 HOIPOI

第1. 2版

# 1 目次

---

1	目次.....	2
2	はじめに.....	3
3	Tips セットアップ.....	4
3.1	事前準備.....	4
3.2	事前準備 2.....	4
3.3	セットアップ.....	4
3.4	セットアップ (その他).....	5
4	Tips 概要.....	6
4.1	概要.....	6
4.2	処理フロー.....	6
4.2.1	処理フロー.....	6
4.2.2	処理内容.....	7
4.3	構築のポイント.....	7
4.4	サンプル機能.....	7
4.5	構築方法.....	8
4.5.1	TALON 機能の構築.....	8
4.6	利用 TALON 機能.....	13
5	改版履歴.....	14

## 2 はじめに

---

本資料はTALON機能を使用した活用例を掲載しております。

「**Tips 共通資料**」と合わせてご確認ください。

また、使用している機能の詳細につきましては「**310\_TALON\_機能構築マニュアル**」、基本的に機能の構築方法につきましては「**300\_TALON\_機能構築チュートリアル**」を合わせてご確認くださいようお願いいたします。

### 補足

---

TALON Tips のセットアップは、事前に以下の準備が完了している必要があります。

- TALON 本体がセットアップ済みであること  
※対応するバージョンについては当ドキュメントの改版履歴に記載しています。
  - TALON 標準ファンクションがセットアップ済みであること
  - TALON リポジトリ移送機能がセットアップ済みであること
- 

### <注意事項>

-  TALON バージョンにより画面イメージが異なる場合があります。

## 3 Tips セットアップ

---

当 Tips を利用する為に必要なセットアップ手順を記載いたします。

### 3.1 事前準備

---

「Tips 共通資料」の「4 セットアップ手順」>「4.1 事前準備」を参照してください。

### 3.2 事前準備 2

---

「Tips 共通資料」の「4 セットアップ手順」>「4.2 事前準備 2」を参照してください。

### 3.3 セットアップ

---

下記セットアップを実施してください。

No.	実施有無		
1	×	スクリプトパッチの適用	
2	○	機能のインストール	Tips 番号 : <b>0013</b> (リポジトリデータ : <b>TLN_TIPS_0013</b> )
3	○	機能のセットアップ	Tips 番号 : <b>0013</b>
4	○	機能利用権限の付与	Tips 番号 : <b>0013</b>
5	×	DocRoot ファイルの 配備	
6	×	その他	

### 3.4 セットアップ（その他）

---

当 Tips はその他の作業はありません。

## 4 Tips 概要

### 4.1 概要

1回の確定処理で、複数のテーブルの更新を実施します。

### 4.2 処理フロー

#### 4.2.1 処理フロー

The screenshot displays the TALON system interface for order registration. The page title is "TIPS0013\_注文登録" and the user is logged in as "TALONデモユーザ". The search criteria section includes a search box and buttons for "保存" (Save) and "削除" (Delete). The order details section includes fields for "注文No." (00001), "注文日" (2017/03/23), and "お届け先" (Delivery Address). The delivery address section includes "配送日" (2017/03/23), "お客様名" (〇〇太郎), "住所1" (神奈川県横浜市), "住所2" (神奈川区), and "電話番号". The amount section shows "合計金額" (2,800), "消費税" (224), and "請求金額" (3,024). The table below shows the order items:

参照	復写	削除	品目コード	品目名	注文数	単価	合計金額	消費税	請求金額
参照	復写	削除	HIN001	品目〇〇1	2	1,000	2,000	160	2,160
参照	復写	削除	HIN002	品目〇〇2	1	800	800	64	864

Callout 1 points to the "注文No." field. Callout 2 points to the "注文日" field. Callout 3 points to the "品目コード" column in the table.

## 4.2.2 処理内容

---

- ① 商品コードを入力すると単価を設定。
- ② 注文数を入力すると、合計金額、消費税、請求金額を算出し表示。
- ③ 明細の金額が変更されると、その集計値をヘッダの合計金額、消費税、請求金額に反映

## 4.3 構築のポイント

---

- ① TALON の検索子画面、もしくは LOOKUP の機能により、コードに紐づく情報を画面に表示することが可能です。それにより品目コードに紐づく単価を画面に表示させることが可能になります。
- ② TALON では各項目の FocusOut の際に、任意の JavaScript を発火することが可能です。それにより注文数量項目からの移動時に単価値との計算を実施することが可能になります。
- ③ TALON では（クライアントサイド）JavaScript にてバインド変数を使用することが可能です。それにより画面項目を（クライアントサイド）JavaScript で取得することが出来る為、明細の金額を集計しヘッダ項目に反映することが可能になります。
- ④（明細部項目については、クライアントサイド JavaScript ではデータの更新が行えません）  
よって、TALON の DB 設定式を使用し、クライアントサイド JavaScript で実施した算出を実施しデータベースへの書き込みを行います。

## 4.4 サンプル機能

---

### ➤ TALON、TALON 関連機能

関連機能名	種別	関連機能 ID
TIPS0013_注文登録	TALON	TLN_TIPS_0013_ORDER
TIPS0013_注文検索子画面	TALON	TLN_TIPS_0013_ORDER_LIST
TIPS0013_品目検索子画面	TALON	TLN_TIPS_0013_HIN_LIST

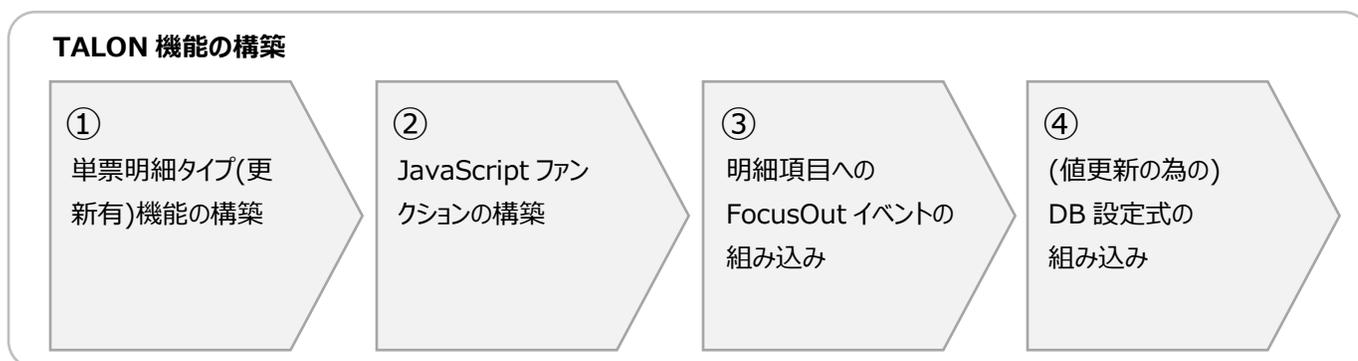
➤ データベース関連

関連機能名	種別	関連機能 ID
TIPS0013_注文テーブル	TABLE	TLN_TIPS_0013_ORDER
TIPS0013_注文明細テーブル	TABLE	TLN_TIPS_0013_ORDER_DTL
TIPS0013_商品マスタ	TABLE	TLN_TIPS_0013_HIN_MST

## 4.5 構築方法

---

<機能構築の流れ>



### 4.5.1 TALON 機能の構築

---

サンプル：注文登録機能の構築

① 単票明細タイプ（更新有）機能の構築

※ 機能構築チュートリアル「[単票明細メンテナンス機能の構築](#)」を参照してください。

② JavaScript ファンクションの構築

※ 機能構築マニュアル「[JavaScript 埋め込み](#)」を参照してください。

**Point** 使用する下記 JavaScript ファンクションを作成します

1) calcAmount()

【パラメータ】 受注数、単価、金額、消費税、請求金額 の項目オブジェクト

【内 容】 受け取った受注数、単価より、金額、消費税、請求金額を計算し値をセットするファンクション

2) calcAmountSum()

【パラメータ】 無し

【内 容】 明細にある、金額、消費税、請求金額の値を取得し、  
集計した結果をヘッダ部の金額、消費税、請求金額にセットする。

3) calcAmountAll()

【パラメータ】 無し

【内 容】 明細にある、受注数、単価、金額、消費税、請求金額のオブジェクトを取得し、  
calcAmount()を呼び出して、画面の金額を再計算する

**Point** 画面項目のオブジェクト取得方法（単票系）

バインド変数を使用することで、画面項目のオブジェクトを取得することが出来ます。

<例>

```
//オブジェクトの取得  
var obj = getElementByName(%1_XXXXXXX%);  
//オブジェクトに値を代入  
obj.value = "XXXXXXX";
```

バインド変数で取得した値で getElementByName ファンクションを使用しオブジェクトを取得。  
オブジェクトの値(value)に値を代入しています。

**Point**

## 画面項目のオブジェクト取得方法（明細系）

バインド変数を使用することで、画面項目のオブジェクトを取得することが出来ます。

※下記では明細を LOOP して、各値を集計しています。

<例>

```
var intR = 0;
var swR = false;
var sum = 0;
while(swR == false) {
  var element_Str = %1_HIN_CD%.replace( '-1' , intR );
  var obj = getElementByName(element_Str);
  if(obj) {
    sum = sum + parseInt(obj.value);
    intR++;
  } else {
    swR = true;
  }
}
```

バインド変数で取得した値の「-1」をインデックス番号に変換し、その値で getElementByName ファンクションを使用しオブジェクトを取得。

オブジェクトの値(value)を変数 sum に加算しています。

**Point**

行追加や行削除等、イベントが発生し画面のリロードが起きるとクライアントサイドで更新した値が戻ることがあります。その為、サンプルでは画面リロード時に再計算の処理を実施しています。

<例>

```
var sw = 0;
function resizeContents_start() {
  if (sw == 0) {
    //行追加、行複写、行削除の場合、計算結果が変わっているので再計算
    var status = document.getElementById("EVENT_STATUS");
    if ((status.value == 'ADDLINE') || (status.value == 'DELETEDLINE')) {
      calcAmountAll();
      calcAmountSum();
    }
  }
  sw = 1;
}
```

resizeContents\_start フังก์ションを定義することで、TALON の画面が描写されたタイミングで実施する処理を記述することが出来ます。

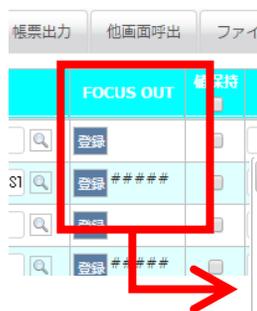
実施された処理では"EVENT\_STATUS"にて実行された処理の内容を取得し、行追加、もしくは行削除の場合のみ、作成したファンクション calcAmountAll()と calcAmountSum()を実行するようにしています。

### ③ 明細項目への FocusOut イベントの組み込み

※ 他機能呼出の設定については機能構築マニュアル「[入力補助・入力制御](#)」を参照してください。

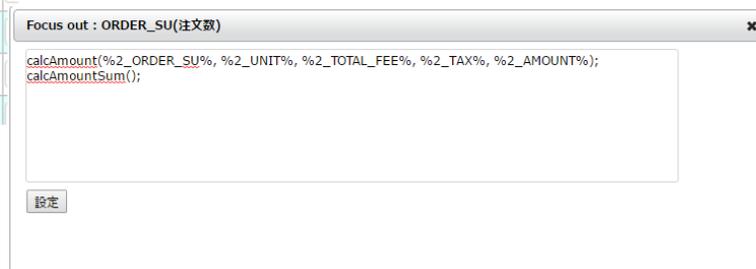
**Point**

上記で作成したファンクションを呼び出します



登録ボタンを押下するとスクリプトの入力エリアが表示されます。

コードにはバインド変数を使用することが出来ます。



<例>

```
calcAmount(%2_ORDER_SU%, %2_UNIT%, %2_TOTAL_FEE%, %2_TAX%, %2_AMOUNT%);
calcAmountSum();
```

#### ④ DB 設定式の組み込み

※ 他機能呼出の設定については機能構築マニュアル「[DB 設定式](#)」を参照してください。

##### Point

明細系で表示項目の場合、クライアントサイドの JavaScript で変更された値では、データの更新が実施できません。TALON の DB 設定式を使用して、更新処理の際にクライアントサイドの JavaScript 同様の算出を実施します。

※項目のコンポーネントを Hidden にすることで、クライアントサイドの JavaScript で設定した値でもデータの更新は可能になります。DB 設定式では表現できない複雑なロジックなどの場合、更新用の項目と表示用の項目を分けることで、DB 設定式を使用せずに値を更新することも可能です。

##### Point

DB 設定式の登録条件式には、必ず「True」になる式を設定します  
これにより、確定処理時に必ず実行されるようになります。（サンプルでは「 $1 = 1$ 」と設定）

##### Point

DB 設定式の値には、バインド変数を使用した「式」を記述します

設定値登録					
▼ 検索条件					
機能ID	TLN_TIPS_0013_ORDER	機能名	TIPS0013_注文登録		
ブロック番号	2	ブロック名			
項目ID	TOTAL_FEE	項目名	合計金額		
明細件数 : 2件					
	条件式	登録条件式	値		
複写	削除	マクロ	1 = 1	%2_ORDER_SU% * %2_UNIT%	
複写	削除				

<例>

```
%2_ORDER_SU% * %2_UNIT%
```

サンプルでは、このように設定し、注文数×単価 の値を合計金額の項目に更新しています。

- 4.5 入力時補助・入力制御 > 4.5.8 入力項目のフォーカスアウト時に JavaScript を実行する方法
- 6.10 DB 設定式
- 6.12 JavaScript 埋め込み

## 5 改版履歴

---

日付	版数	内容
2017/04/01	第 1.0 版	初版
2018/07/10	第 1.1 版	TALON Ver4.1.5 に対応しました。 PostgreSQL に対応しました。
2019/06/01	第 1.2 版	TALON Ver5 に対応しました。